

弥彦菊まつりで始まり

日ごと寒さ増しきょうから11月

軒下につるし柿が下がり、街路樹は秋色を濃くし、冬囲いなど冬支度が見られるようになってきょうから十一月。ことしも残すところ二か月。日ごとに寒さが厳しさを増していく季節の到来だ。

伝統的工芸品月間、エれる今月、一日から恒例コドライブ推進月間、ねの県下最大規模を誇る弥彦菊まつりが弥彦神社で止啓発月間などが展開さ開幕。二十四日まで県内



冬支度が始まってきょうから十一月

の愛好者が丹精込めて育てた菊花約三千点が参道などに展示され、ことしも県内外からの観光客でにぎわう。

秋の全国火災予防運動。ストーブなど暖房器具の出番となる中、火器取り扱いなど防火対策は忘れずに。

三日は「文化の日」。自由と平和を愛し、文化を薦める祝日。三条市はこの日午前九時から三条市中央公民館大ホールで

七日は冬の気配も始まる「立冬」。十五日は七五三。二十二日は雪がちらつき始める時期となる「小雪」、そして、二十三日は「勤労感謝の日」。日ごとに秋が深まる中、県民会館では県洋舞踊協会設立五十周年記念ダンスフェスティバル(五日)、上越・リージョンプラザ上越では「古典芸能のつどい」(五日)、新潟市・だいしホールでは第五十二回県音楽コンクール受賞者コンサート(十一日)、見附市の文化ホールアルカディアでは県民謡民舞年次大会(十二日)、柏崎市の柏崎さけのふるさと公園で、さけ豊漁まつり(二十五、二十六日)など各地でイベントも盛りだ

いつもそばに、ずっと。

コドリ

平成二十九年度三条市表彰式を行い、市政の進展、産業振興、文化向上など八分野の七十七人を表彰する。式典の流れはほぼ例年通りだが、アトラクションの趣向を変えて、チェロとピアノの二重奏(生演奏)を式典のBGMとして流す。演奏は県内で活躍する弦楽器とピアノの若手演奏家のグループ「アンサンブル・オペリー」のメンバーでチェロ奏者の片野大輔さん、ピアノ奏者の佐藤瑠美さんが担当。これまでは違った趣の表彰式となりそつた。

五日から八日まで三条市・真宗大谷派東別院で恒例のお取越草花の苗、鉢植え、庭木などが並ぶ露店は晩秋の風物詩だ。九日から十五日までは